

- 1...総会のご案内  
2...事務局より  
大阪白水会決算報告  
4...母校だより  
6...各科便り  
8...57年度卒業生の進路  
13...新記念館  
15...六十周年を祝う  
18...会員便り  
21...60周年記念基金一覧

# 白水会報

## 発行所

大阪市立泉尾工業高等学校内

大阪白水会

〒551

大阪市大正区泉尾5-16-7

TEL 大阪 552-2221代

振替 大阪 4 82966

発行人 横山 幸男

編集責任者 北川恒夫

今回はからずも名誉ある  
白水会会長をお受けするこ  
とになりました。まことに  
浅学非才の私には、とても  
無理だと承知して居ります  
が、これも母校のためと、  
お受けした次第です。大先  
輩長野前会長のあと、会の  
運営には何かと不行届きが  
あると思いますが皆様方  
のご理解とご協力におすが  
りするばかりでございま  
す。

昨年は創立六十周年記念  
事業が盛大に行われ、直  
接、間接に事に当られた方  
々に謝意を表すると共に、  
まことに御同慶の至りと喜  
んで居ります。



会長 横山 幸男 (A17)

## ごあいさつと おねがい

共に、年会費の増収を目指して真剣に会員諸士にお願いすることになりました。何とぞ御協力下さいますようお願い申し上げます。

先輩諸士に比し、力量共に劣る私はございますが任期中には、せめて後輩諸君の為に一つでも有益なことをなし、人間形成の基をつくっていただいだ母校に対する御恩に報いたい所存でありますので、会員諸士の御指導・御協力を心から

去る五月二十日夕刻、新設なった母校の六十周年記念館に於て、役員理事会が催され、母校愛あふれる討議がなされました。今年も例年通り新卒業生の入会歓迎を兼ねた総会を催すと

お願い申し上げまして新任の御挨拶と致します。

◆総会のご案内

母校創立61年の年輪を刻む年、新入会員を歓迎し、旧交を温め、母校の発展を祈ろう。電話でさそい合わせクラス会の開催にご利用下さい。新入会員多数の出席を期待しております。

日時 7月15日 (金) 午後6時

会場 大成閣 (電話) 二七一-一五三三八

(心斎橋大丸・そどうの間東へ100m)

### ◆58年度役員

会長 横山 幸男氏 (A17)

副会長 布谷 伊光氏 (S4)

山下 文雄氏 (D16)

藤村 嘉夫氏 (C7)

南園 良尚氏 (A28)

渡辺伝次郎氏 (M20)

河端 保氏 (E41)

役員・理事会 (4/22-5/4-6/29・必要に応じ開催)

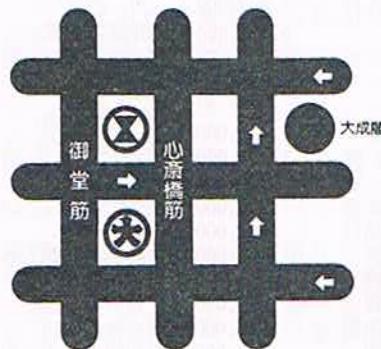
常任理事会 (4/22-5/4-6/29・必要に応じ開催)

東京支部総会 (5/27)

卒業生を聞く会 (6/23)

会報発行 (7/4)

総会 (7/15)



会費 四、〇〇〇円

ただし57年・58年の卒業生は二、〇〇〇円  
議事の時間を短縮しますので会報の決算、予算等をお目通しあげます。

謹用のあこやう

前会長 長野蘭藏(C4)

六十年周年記念事業が五十年  
七年に行われることは私に  
不適で重責だと知りながら  
会長を引受け三年になつ  
た。当初この榮誉ある事業  
は次代の後輩になにかを残  
すべきだと決心した。

60周年記念事業募金の

完遂に感謝

事務局より

東工60年の栄光ある遺産の維持と発展のため展開されたに一、〇〇〇万円募金運動が完遂の言葉でご報告申しあげることができ、喜びにたえません。これひととも

に長野前会長の「泉工の卒業生であるから、必らず目標額を完遂していただけるものと自負しております」という誇りと熱意、旧職員の方々、実行委員・会

方々の損得のない懸念な母校愛あふれるご努力、ご協力の賜と深く感謝の意を表します。57年10月16日の記念式典の開催に始まり、募金趣意書の計画通り諸事業が実行に移され、現在、記念館の設備の充実が進行中であります。

これが六十周年記念として後輩諸君にのこすものになるだろう。

会、記念誌発行は学校長を始め当局とPTA・教育後援会、白水会の連繫による数度の準備により完成したものでここに関係各位に厚くお礼申上げる。式典には大都城東京文部長、磁蘭間、その他旧先輩の顔が見え嬉しく感じ祝賀会も盛大であった。本年五月新装の記念館(設備に機械五百万充當)で役員理事会開催、白

昭和57年度 大阪白水会決算書

〔一般会計〕			
取 り 総 額	支 出 総 額	差 引 額	50,390円→次年度へ繰越
(収入の部)			
<b>項 目</b>			
前 年 度 繰 越 金	0		0
納 金	850,000	893,811	
費 用	800,000	930,125	
預 金 利 息	5,000		0
雜 収 入	200,000	150,000	
積立会計より繰入れ	268,000	268,000	
<b>合 計</b>	<b>2,123,000</b>	<b>2,241,936</b>	
(支出の部)			
項 目	予 算 額	決 算 額	
1.事 業 費	1,712,000	1,694,030	
1)会 報 作 成 費	1,200,000	1,084,730	
2)総 会 費	250,000	358,100	
3)新入会員歓迎費	120,000	109,200	
4)退職記念品料	142,000	142,000	
2.会 議 費	200,000	237,000	
3.通 信 費	30,000	31,320	
4.事 務 費	31,000	31,000	
5.教育後援会分担金	50,000	50,000	
6.出 版 費	80,000	89,730	
7.雜 費	20,000	58,460	
<b>合 計</b>	<b>2,123,000</b>	<b>2,191,546</b>	

## 58年度 大阪白水会予算

一般会計	
収入総額	2,205,390円
支収総額	2,205,390円
差引額	0
(収入の部)	
項目	予算額
前年度繰越金	50,390
予納金	870,000
会費	800,000
預金利息	5,000
雑収入	150,000
積立会計より繰入れ	330,000
合計	2,205,390
(支出の部)	
項目	予算額
1.事業費	1,845,000
1)会報作成費	1,300,000
2)総会費	300,000
3)新入会員歓迎費	120,000
4)退職記念品料	125,000
2.会議費	100,000
3.通信費	32,000
4.事務費	31,000
5.教育後援会分担費	50,000
6.出張費	100,000
7.雑費	40,000
8.予備費	7,390
合計	2,205,390

[57年度積立金会計決算書] 二五三三三三三三三三

収入総額	2,753,555円
支出総額	268,000円
差引額	2,485,555円→次年度へ繰越
(収入の部)	
項目	予算額 決算額
前年度繰越金	2,630,199 2,630,199
雑 収 入	100,000 123,356
合 計	2,730,199 2,753,555
(支出の部)	
項目	予算額 決算額
一般会計へ繰入	268,000 268,000
合 計	268,000 268,000

58年度予算案

(収入の部)	
項目	予算額
前年度繰越金	2,485,555
雑 収 入	100,000
合 計	2,585,555

(支出の部)	
項目	予算額
一般会計に繰入れ	330,000
予 備 費	2,255,555
合 計	2,585,555

会計監査報告  
昭和57年度大阪白水会会計監査したところ使途は適正であり会計を認めます。  
の記載は正確であったこと監査 会計監査





勤務され、体育の授業を担当されました。また窯業科と織維工業科の担任として一年間の在職でありました。が、今春より京都の立命館

◎窯業科 平野 敦先生

平野 敦先生は、本校には一年間の勤務でしたが、持ちまえの緻密な頭脳を生かし、特に情報処理教育の分野で御活躍されました。

また、教材でも大変工夫を凝らしておられ、生徒一人ひとりに適した教育を実践するなど大きな成果をあげられました。

現在、今年開校した府立砂川高校で学級担任として御活躍されています。今後の御発展を期待しています。

勤務され、体育の授業を担当されました。また窯業科と織維工業科の担任として一年間の勤務でありました。が、今春より京都の立命館

勤務され、体育の授業を担当されました。また窯業科と織維工業科の担任として一年間の勤務でありました。が、今春より京都の立命館

高等学校に勤務されました。先生の今後になりました。先生の御活躍をお祈りいたします。

◎保健体育科 小山 直幸先生 市立盲学校より転勤されてこられたきびきびした若い先生です。ご専門は陸上競技です。

◎機械科 横 清先生 生野工業高校より本校に転勤された若さとファイ溢れる先生です。早速卓球部の顧問として部員の指導に当つておられます。

◎数学科 遠藤 隆先生 市立加賀屋中学より転勤して来られた明るくフレッシュな二十九歳の先生です。

◎美術科 鈴木 利正先生 渡辺先生の後任としておかれました。

ご専門は油絵で、前校ではラクビー部顧問として指導されたスポーツマンであります。今後のご活躍が楽しみです。

◎理科 日尾 泰也先生 高川先生の後任として、おむかえした新進気鋭の先生です。先生は地学がご専門ですが、幅ひろく理科全般に堪能で、また陸上競技部顧問として活躍中です。

◎保健体育課 濱田 和利先生  
市立東淀工高より御転勤になつた元気いっぱいの女性の先生です。ご東淀レッスンな先生です。ご東淀門は陸上競技です。

◎健康教育課 貝戸 布世美先生  
市立大成小学校よりこの年度本校にご赴任になりました。生徒たちにとて優しい姉の様な先生です。

△学校行事から▼

○宿泊ホームルーム 新一年生を対象に、五月中旬から二泊三日で、奈良鹿青少年スポーツセンターで行いました。今年は去年の反省に基づき三班編成となりました。ホームルームを中心とした行事が計画されました。共同生活を通して生徒間、生徒・職員間の相互理解という所期の目的を達成し、全員無事帰校しました。

○校外学習 五月十八日、二・三年生は、各クラス毎に校外学習を行いました。晴雨にかわらず実施することとした為、雨天行事も計画しました。費用が少ない為、ハイキング有意義な一日を過しました。

学校行事から

（石浦百合子）  
新一年生を対象に、五  
月十四日から二泊三日で、鶴  
鹿青少年スポーツセンターで  
行いました。今年は主

「N」のテーマの下で、六日  
十日（金）に第六十一回生  
育祭を実施致しました。当  
雨入りで、心配された天気も  
好天に恵まれ、応援・保護

別掲のよう、例年どおり六月二十三日(木)D科二十一日)に実施されました。各方面でご活躍の諸氏のお話に、三年生は大いに

1

アイト  
球の指導  
の草球  
い。生徒たちにとつて優し  
い姉の様な先生です。

機会の少ない生徒たちに上って、この試みは意義あるものと思われます。

三学年優勝  
応援優勝  
仮装優勝  
背景優勝  
○卒業生を囲む会

1

## ◎ 健康教育課

対象に文楽鑑賞を行いました。演目は「盡取觀音靈驗記」で、鑑賞態度もよく、なかなか好評でした。

主な成績 総合優勝 一年生優勝 二年生優勝

濱田 和利先生  
市立東淀工高より御転任になつた元気いっぱいの、  
レッシュな先生です。ご専門は陸上競技です。

かつた中で、二Cが信太山キャンプ場で野外活動をしたのが新しい試みでした。

急事業会から、立派な優勝旗を寄贈していくに、総合優勝の横維工業科に授与致しました。ご披露申し上げますと共に、底面をやり



今年から体育祭で活躍  
した大太鼓

施予定です。

## 織維工業科 だより

卒業生の皆様、お変わりございませんか。六十周年記念の諸行事には皆様方より心強いお力添えをいただき、ありがとうございました。織維工業科も実習の全部門が新校舎に移ってから八年経ちました。その間実習の内容も相当に変化し、從来の生産実習を軸にしておりますが、生徒の自発性と創造力を伸ばすために、新たにコンピューターやデザインの部門を取り入れたり、織維に関連をもつ作品をつ

## 色染工業科 だより

### 26名計41名、担任西本先生

(理科) 副担任北川先生。

二年生男子10名女子20名計30名。担任六辻先生、副担任三輪先生。(英語) 三年生、男子7名女子27名計34名。担任川口先生。(社会)

○卒業生の皆様お元気で御活躍のことと存します。

母校60周年記念事業募金に御協力を戴き、おかげで目標近くまで達しまして有難うございました。今後とも宜しくお願ひいたします。

○本年度の各学年構成は、一年生、男子15名女子

くりあげることを卒業実習に組み入れるようになります。織維部門では、紬着尺や綿糸やタビストリー等を製作し、ニット部門では、ショールやベスト等の作品を、また化学部門では型染めによる壁掛けや洋服地と染色物をつくりあげております。これ等の作品は大阪市立高等学校芸術祭の展示部門にも出品し好評を博しました。本年も二学期には約二ヶ月をこの期間にあて

・二年生は増成先生・一年生は川島先生(男子14名・女子27名)です。

現在、三年生は川島先生(男子23名)、一年生は41名(男子13名・女子19名)。このうち七割が就職希望です。二年生は33名(男子10名、女子23名)、一年生は41名(男子14名・女子27名)です。

○此の春の卒業生は27名で進路は別掲のとおりです。染色関係への就職者の比率が高く、特に染工場へは、例年よりも多くなっています。間もなく春卒業予定の現三年生に対する求人票が各会社から送られて来ます。色染工業科職員一同も

卒業生の中には約三ヶ月で市販の手織機に比べてはほとんど遜色のないものをコツコツとつくりあげ、この織機で作品を織りあげる生徒もでてきました。現在の三年生は32名(男子27名)で、これ等の作品は大阪市立高等学校芸術祭の展示部門にも出品し好評を博しました。本年も二学期には約二ヶ月をこの期間にあて

・二年生は増成先生・一年生は川島先生(男子14名・女子27名)です。

○体育祭での科の応援歌が今年より変りました。生徒が今まで歌っていました。作詞・作曲?はD科生徒より募集した上で生徒の委員が集まつて選定しました。まだ十分になれていませんが意欲は買えます。

る予定ですので十一月頃に学校へお立寄りいただければ楽しい作品をお目にかけることができます。

生は里崎先生がそれぞれ担任をしていただいており、米田先生・辻村先生・市原先生・木原先生もはりきつて生徒指導にあたっておられます。

○体育祭での科の応援歌が今年より変りました。生徒が今まで歌っていました。作詞・作曲?はD科生徒より募集した上で生徒の委員が集まつて選定しました。まだ十分離れていませんが意欲は買えます。

○体育祭での科の応援歌が今年より変りました。生徒が今まで歌っていました。作詞・作曲?はD科生徒より募集した上で生徒の委員が集まつて選定しました。まだ十分離れていませんが意欲は買えます。

生は里崎先生がそれぞれ担任をしていただいており、米田先生・辻村先生・市原先生もはりきつて生徒指導にあたっておられます。

きたいと思っております。

卒業生の皆様一度おでか

け下さって、後輩を励まし

てやって下さい。

○体育祭での科の応援歌

が今年より変りました。生

徒が今まで歌っていました。作詞・

作曲?はD科生徒より募集

した上で生徒の委員が集まつて選定しました。まだ十分離れていませんが意欲は買えます。

○体育祭での科の応援歌

が今年より変りました。生

徒が今まで歌っていました。作詞・

作曲?はD科生徒より募集

</div

た。  
世話をなつたね、御苦労で  
した。  
さようなら……

今はなつかしC科の校舎、  
粘土こねくり、ろくろを回  
し、焼物造った思い出や、  
テストピースのかついだ重  
さ、セメント実習なつかし  
い。原料詰め込み、プレス  
をしたが、焼いたら、こわ  
れた耐火物。

世話になつたね、ありが  
とう。六十年間御苦労でし  
た。君の思い出、心の底  
にしまっておくよいつまで

も。

新校舎に移つて三ヶ月、  
やっと引っ越し整理もすん  
で、気分一新職員生徒一  
同、先輩諸氏にまけじと頑  
張つております。

なお、昨年御紹介した木  
本先生は、残念ながら京都  
の立命館高校に転職され、  
現在、阪口先生を先頭に、  
佐藤、石井、前川、榎本、  
岩崎の六人と非常勤講師の  
先生方で、C科生徒指導に  
当つて居ります。

木本先生は、残念ながら京都  
の立命館高校に転職され、  
現在、阪口先生を先頭に、  
佐藤、石井、前川、榎本、  
岩崎の六人と非常勤講師の  
先生方で、C科生徒指導に  
当つて居ります。

## 工業化学科 だより

卒業生のみなさんには、  
お元気でご活躍のことと存  
じます。平素は工業化学科  
発展のために種々ご尽力を  
賜わり厚くお礼申し上げま  
す。

工業化学科の先生方は、  
みなさんお元気で校務には  
げんでおられます。今年は、  
岡本先生が三十一年間、  
浜中先生は二十六ヶ月間の  
長きにわたって工業化

学科の發展と充実にご尽力  
いただき、多大の功績を残  
されました。本校にとって  
誠に惜しい先生方で非常に  
残念ではあります。今後  
の發展をお祈りしてお送り  
致しました。

岡本、浜中両先生の後任  
として、都島工業高校より  
西澤 義先生と河原正尚先  
生が工業化学科へ着任され  
ました。兩先生ともベテラ  
ンでみなさんの後輩の指導

な、今年度、異先生が  
教務課長として教務課へ、  
小城先生は昨年度にひきつ  
づいて生活指導課へ、坂本  
先生は教務課へ、それぞれ  
出向され、和歌崎先生は教  
務課から戻られました。ま  
た、三年生の担任は三羽、  
三鶴岡先生、二年生は佐々  
木、久野兩先生、一年生は  
和歌崎、山田(社会)両先  
生です。

さて、新しい実習棟に移  
つて一年たちましたが、明  
るく清潔で、気持よく実  
習ができるようになり、先  
生方、生徒諸君とも意欲  
を燃やしてあります。みな  
さんは是非、新実習棟の見学  
にお越し下さいますように  
お待ち致しております。な  
お卒業生のみなさんは思  
い出深い旧実習場の解体撤  
去作業が今年夏休み前に始  
められるようですが、何か  
お待ち致しております。な  
どお世話になつておられる  
と思いますが、どうかよろ  
しく御指導御鞭撻下さいま  
すようお願申し上げます。

今年の卒業生六十八名(うち  
女子五名)の進路状況は別  
掲の通りです。先輩諸氏の  
もとでお世話になつておられる  
生徒が高めるために、各種  
ライセンス取得に重点を置  
いています。昨年の機械科  
の実績はガス熔接技能講習  
修了証取得者68名、計算技  
術検定2級13名、3級64  
名、4級11名の合格者を  
出し、情報技術検定(2級)  
8名合格、製図検定合格16  
名と、その成果は自覚ま  
るものがありました。今後  
とも、一層伸展せんもの  
と意気込んでいます。次第で

した。昨年よりの不景氣で  
就職戦線は厳しく、難関で  
いたが先輩諸兄のご奮闘と  
お引立てのお蔭で、無事全  
員が就職を決めておりま  
す。今年春三月に、70名の卒業  
生が元気に果立つて行きま  
す。御健勝でご活躍のことと  
存じます。

## 機 械 科 だより

卒業生のみなさんには、  
お元気でご活躍のことと存  
じます。平素は工業化学科  
発展のために種々ご尽力を  
賜わり厚くお礼申し上げま  
す。

工業化学科の先生方は、  
みなさんお元気で校務には  
げんでおられます。今年は、  
岡本先生が三十一年間、  
浜中先生は二十六ヶ月間の  
長きにわたって工業化

学科の發展と充実にご尽力  
いただき、多大の功績を残  
されました。本校にとって  
誠に惜しい先生方で非常に  
残念ではあります。今後  
の發展をお祈りしてお送り  
致しました。

岡本、浜中両先生の後任  
として、都島工業高校より  
西澤 義先生と河原正尚先  
生が工業化学科へ着任され  
ました。兩先生ともベテラ  
ンでみなさんの後輩の指導

な、今年度、異先生が  
教務課長として教務課へ、  
小城先生は昨年度にひきつ  
づいて生活指導課へ、坂本  
先生は教務課へ、それぞれ  
出向され、和歌崎先生は教  
務課から戻られました。ま  
た、三年生の担任は三羽、  
三鶴岡先生、二年生は佐々  
木、久野兩先生、一年生は  
和歌崎、山田(社会)両先  
生です。

さて、新しい実習棟に移  
つて一年たちましたが、明  
るく清潔で、気持よく実  
習ができるようになり、先  
生方、生徒諸君とも意欲  
を燃やしてあります。みな  
さんは是非、新実習棟の見学  
にお越し下さいますように  
お待ち致しております。な  
どお世話になつておられる  
生徒が高めるために、各種  
ライセンス取得に重点を置  
いています。昨年の機械科  
の実績はガス熔接技能講習  
修了証取得者68名、計算技  
術検定2級13名、3級64  
名、4級11名の合格者を  
出し、情報技術検定(2級)  
8名合格、製図検定合格16  
名と、その成果は自覚ま  
るものがありました。今後  
とも、一層伸展せんもの  
と意気込んでいます。次第で

した。昨年よりの不景氣で  
就職戦線は厳しく、難関で  
いたが先輩諸兄のご奮闘と  
お引立てのお蔭で、無事全  
員が就職を決めておりま  
す。今年春三月に、70名の卒業  
生が元気に果立つて行きま  
す。御健勝でご活躍のことと  
存じます。

岡本、浜中両先生の後任  
として、都島工業高校より  
西澤 義先生と河原正尚先  
生が工業化学科へ着任され  
ました。兩先生ともベテラ  
ンでみなさんの後輩の指導

な、今年度、異先生が  
教務課長として教務課へ、  
小城先生は昨年度にひきつ  
づいて生活指導課へ、坂本  
先生は教務課へ、それぞれ  
出向され、和歌崎先生は教  
務課から戻られました。ま  
た、三年生の担任は三羽、  
三鶴岡先生、二年生は佐々  
木、久野兩先生、一年生は  
和歌崎、山田(社会)両先  
生です。

さて、新しい実習棟に移  
つて一年たちましたが、明  
るく清潔で、気持よく実  
習ができるようになり、先  
生方、生徒諸君とも意欲  
を燃やしてあります。みな  
さんは是非、新実習棟の見学  
にお越し下さいますように  
お待ち致しております。な  
どお世話になつておられる  
生徒が高めるために、各種  
ライセンス取得に重点を置  
いています。昨年の機械科  
の実績はガス熔接技能講習  
修了証取得者68名、計算技  
術検定2級13名、3級64  
名、4級11名の合格者を  
出し、情報技術検定(2級)  
8名合格、製図検定合格16  
名と、その成果は自覚ま  
るものがありました。今後  
とも、一層伸展せんもの  
と意気込んでいます。次第で

した。昨年よりの不景氣で  
就職戦線は厳しく、難関で  
いたが先輩諸兄のご奮闘と  
お引立てのお蔭で、無事全  
員が就職を決めておりま  
す。今年春三月に、70名の卒業  
生が元気に果立つて行きま  
す。御健勝でご活躍のことと  
存じます。

岡本、浜中両先生の後任  
として、都島工業高校より  
西澤 義先生と河原正尚先  
生が工業化学科へ着任され  
ました。兩先生ともベテラ  
ンでみなさんの後輩の指導

た。

なお、今年度、異先生が  
教務課長として教務課へ、  
小城先生は昨年度にひきつ  
づいて生活指導課へ、坂本  
先生は教務課へ、それぞれ  
出向され、和歌崎先生は教  
務課から戻られました。ま  
た、三年生の担任は三羽、  
三鶴岡先生、二年生は佐々  
木、久野兩先生、一年生は  
和歌崎、山田(社会)両先  
生です。

さて、新しい実習棟に移  
つて一年たちましたが、明  
るく清潔で、気持よく実  
習ができるようになり、先  
生方、生徒諸君とも意欲  
を燃やしてあります。みな  
さんは是非、新実習棟の見学  
にお越し下さいますように  
お待ち致しております。な  
どお世話になつておられる  
生徒が高めるために、各種  
ライセンス取得に重点を置  
いています。昨年の機械科  
の実績はガス熔接技能講習  
修了証取得者68名、計算技  
術検定2級13名、3級64  
名、4級11名の合格者を  
出し、情報技術検定(2級)  
8名合格、製図検定合格16  
名と、その成果は自覚ま  
るものがありました。今後  
とも、一層伸展せんもの  
と意気込んでいます。次第で

した。昨年よりの不景氣で  
就職戦線は厳しく、難関で  
いたが先輩諸兄のご奮闘と  
お引立てのお蔭で、無事全  
員が就職を決めておりま  
す。今年春三月に、70名の卒業  
生が元気に果立つて行きま  
す。御健勝でご活躍のことと  
存じます。

岡本、浜中両先生の後任  
として、都島工業高校より  
西澤 義先生と河原正尚先  
生が工業化学科へ着任され  
ました。兩先生ともベテラ  
ンでみなさんの後輩の指導

た。

島工高へ転校されました。  
先生は独特の方針と情熱  
あふれる指導で生徒に親し  
まれていました。教務課や  
電算機室の仕事を始め自動  
車、テニス、計算機部等の  
顧問としても活躍されました。

巣立つ若人

卒業生の皆様、お元気で  
御活躍のことと存じます。  
本年も二百九十三名の者が  
本校を果立って行きました。

◆◆新会員は293名◆◆

その他 (47名)	就職 (246名)
そ 職 専 自 短 大	公 サ 電 運 不 卸 製 建
業 門	レ 気 輸 動 小 造 築
の 訓 学	務 ビ ガ 通 産 壳
練 学	ス ス 信 業
他 所 校 間 大 学	員 業 業 業 業 業 業
23 2 7 8 2 5	3 28 1 2 1 58 143 10

就職しております。これは、ここ近年同じ傾向にあるものです。

▼色染工業科	家事手伝い 家事手伝い 未定 未定	新垣ちえみ 坂本晶美 石川順子 中山満恵	田中 田中 田中 田中
奈良県立短期大学	◎進学者	新垣ちえみ 坂本晶美 石川順子 中山満恵	田中 田中 田中 田中
南海保育専門学校	奈良県立短期大学	大森ゆかり	田中 田中 田中 田中
池田理夏	大森ゆかり	大森ゆかり	田中 田中 田中 田中

それがねつむに白いものが目立ちかけたり淋しくなり始めましたが、皆さん元気にがんばっておられます。

思つて記録を調べてみますと何と千二百五十余名の人數になることが分ります。これだけ多くの人々が社会のいろいろなところで活躍しておられるのかと思ふと何ともいえぬ頼もしさを覚えます。

しかしながら一方では卒業後不幸にして事故や病気等のため若くして物故された幾人かの卒業生の事を思う

特に四十年から四十一年頃までの卒業生の東京在住者の氏名が不明との事で、もし個人的にでもこの時期の卒業生と音信をもつてゐる人がおられましたら、至急電気科の方へ電話で結構ですから該当者を教えて下さいませんか。お願ひします。

細川製織株	西川 節子
飯田織工場	森岡 修
參天製葉株	矢田ゆかり
㈱普積武太郎商店	
コスモ㈱	
立誠織維工業㈱	
北村	福田 照久
一男	

も元気で久しぶりに昔話を等して楽しいひとときを過しました。

に在住の人達と久しぶりに懇談することが出来ました。が、ただ残念なことは東京白水会としては電気科卒業生で東京近辺に在住している人達が正確に把握されないという事でした。

タカラガ巧芸 高岡 九一  
菱山製薬株 田中知香子  
日本化學繊維検査協会

電気科だより

時限りない悲しみと淋しさを感じます。



▼電氣科

社会進出に自信が

卒業生を囲む会

恒例となつた「卒業生を囲む会」が今年も開かれました。

とつて、諸先輩方のお話しほは、大きな自信となつたようです。ご多忙のところをわざわざご出席頂き、御申上げます。

纖維工業科  
下士 宏氏 57 前川 伸吾氏

(大阪小鶴衣科株)  
永田 元宏氏  
(東和織物株) 58 中野 浩二氏  
(化學織維検査協

岸本信也氏  
(日本シール株)  
直美氏  
(紡績検査協会)

◆色染工業科  
田中 靖二氏  
(日本チバガイギー)

卷之三

田中誠孝先生  
元化学機械科長、田中誠孝先生は、昭和58年5月7日逝去されました。享年69才でした。

田中先生は、昭和54年本校を退職された後、趣味の読書などで悠々自適の生活を送っていましたが、昨年9月以降、体調を崩され入院、療養を続けておられました。先生は満鉄の技術者として活躍されていましたが、

や実習で先生の教えを受けた卒業生は、一七〇〇名にも達して居ります。

告別式には現旧職員、M科卒業生が多数参列し、御靈を弔送いたしました。先生の円満で温厚な人柄を偲び御冥福をお祈りいたしま

52 仲田智恵子氏

54 平岡一男氏

56 小西加代子氏（スタジオ「モノ」）

57  
佐々木純子氏

(飯田織工株)

◆ 烹業科  
大橋 信重氏

48 永田和博氏

54 (日本化学陶業株)  
長尾 隆治氏

56 古賀 光和氏 (東洋ガラス㈱)

(奥野製薬工業株)

昭和26年5月より本校化學機械科に奉職され、爾來設計・製圖を中心とした教科指導に力を注ぎ、31年から33年間は科長として化學機械科の發展のために多大なご尽力を戴きました。昭和29年を始めとして27年、39年、53年の各卒業生の担任をされました。教科論文や実習で先生の教えを受けた卒業生は、一七〇〇名にも達して居ります。

## ご挨拶

工業化学科



濱中富三

母校の姿もすい分変りました。

昭和四十三年春にC科の煙突が、昭和五十三年には旧SD棟がそれぞれ撤去され、つづいて本年三月にはAC棟が、旧SD棟跡に完成するなど昔日の実習棟の面影はすでに、技術革新の時代にふさわしい威容を誇り、技術教育の一大殿堂となつております。また、学習内容もすい分変りました。指導要領が度々改

向暑の折、会員諸賢には、ますますお元気のこととお慶び申し上げます。

今度、私は此花工業高校に転勤になりました。一言

ご挨拶申し上げます。在職二十二年間の間に、

## 泉工生活三十五年

工業化学科

岡本泰一



た。私は勤めは本校以外の経験もなく、長い間には、自分の家にでも居る様な気安さで、学校生活を送り、無遠慮な言動が多く、大変皆さんに迷惑をおかけした事と思います。それでも長い間、諸先生方の御厚情や御鞭撻、本当に有難く思っています。

最初の六年間で機械科か

ら教務課に厄介になり、機械科では化学の他に、慣れ

ない製図の勉強をさせてい

ました。

私が泉尾工業高等学校に赴任致しましたのは、終戦、未だ日も浅い二十三年の四月でした。以来三十五年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致すことになりました。

訂され、それに伴う教科書の改訂、教科の統合等変動する世の中に合せるような変化が、工業教育界にもありました。

この間に、五十周年記念・六十周年記念の諸事業が会員諸賢の絶大なるご協力と支援によって立派に完

成しました。殊に、昨年は六十周年記念募金として一千万円の净財が寄せられ、大阪白水会の底力が、内外に示された年でもあります。

たいたたり、教務では五年間、時間割係をしたり、すべての科の授業に出させて貰いました。その後工業化学科に長く世話をになりました。教科は主として有機工業化学で、実習は三十六年から実験一本で通してきました。工場での経験がないので、技術面で随分諸先生に御援助願いました。又、実費費や座席設備の係も永くやらせていただき、何とか皆さんの役に立つたか気付ります。事業委員会や工業部会化学分科会なども私が長年独占していました。

二十年代の卒業生は種々

た。私は勤めは本校以外の経験もなく、長い間には、自分の家にでも居る様な気安さで、学校生活を送り、無遠慮な言動が多く、大変皆さんに迷惑をおかけした事と思います。それでも長い間、諸先生方の御厚情や御鞭撻、本当に有難く思っています。

最初の六年間で機械科か

ら教務課に厄介になり、機械科では化学の他に、慣れ

ない製図の勉強をさせてい

ました。

私が泉尾工業高等学校に赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

戦、未だ日も浅い二十三年

の四月でした。以来三十五

年

の水い間、無事勤める事

が出来て本年三月末まで、

退職致することになりました。

私が泉尾工業高等

学校に

赴任致しましたのは、終

# 白水会 東京支部総会

第31回白水会 東京支部総会  
会報告の記

昭和58年5月27日(金)

&lt;p





式典は出席されない会員諸君へ、  
兄からは、感銘深い式典で  
あつたとおほめをいただき  
ました。このあと、港市民

祝辞、献花に続いて、関係者故者に捧げる默禱が行なわれ、大阪白水会会长よりはげましの言葉が述べられました。

10月16日にくり上げて挙行されました。式典は、大正区長、大阪市議会副議長、大阪市教育委員会代表をはじめ、大正区内各官公署、学校代表、市立各高校代表、市立各高校PTA代表、そして母校の歴代校長・旧職員・卒業生（大阪白水会）多数出席のもと歓声かつ盛大に行なわれました。

55年1月2日  
この日は、母校泉尾工業高校の創立60周年を迎える記念すべき日であります。

六十周年を

が集まり、前回初賣会を行いました。



### はげましの言葉を述べる

長野蘭藏白水会長

総ページ数66ページの記念誌は、他校に類を見ないユニークな内容と構成で、好評を博しています。記念式典参列者・在校生及び記

ました。優勝旗のデザイン、  
は、美術の渡辺章雄先生が  
担当し、製作はD32卒の土  
沢通敏氏のご尽力をえて完  
成いたしました。

91

## 事 関 し い

念募金に二口以上応募された方に配布しましたが、まだ若干の残部があるようです。

創立六十周年

記念式典に列席して

第六代校長 長野 忠雄

白水会員の皆さん、母校創立六十周年を迎へ誠におめでとうございます。記念式典には私も列席させていただきましたが、それは歎くべきうちはも又明るくすがすがしい雰囲気に包まれたものでした。伝統の重さを踏まえながらも、尚明日に向つて前進する気概と、学校全体の激励とした新しい息吹きを感じさせるものでした。藤倉校長の式辞に耳を傾ける列席者は、生徒諸君のことでしょう。第六代校長の務めを終えて泉工を去つた私の胸中に去来するものは、正に「老兵去りし後」の発展を目のあたりにして、若い後輩の方々の精進努力が着々として実を結びつつあるという実感でした。藤倉校長の式辞が終つた時、私はひそかに心中で誰かと言ふともなく、「おめでとう」と言わすにはおれませんでした。

通高校重視の風潮の中には、尚教育の原点を踏まえた姿勢をくすさぬ工業教育こそ、泉工の使命であり、過去から現在へ、現在から未来へと伝えねばならない泉工の伝統であると思います。創立六十周年を契機と

欽談する  
左から長野元校長、水田  
先生(D) 村上元校長

私はこれが児童の「第一義教育」こそ、教育の原点を踏まえたものと信じています。普

皆さんに、おめでとうと  
つてベンを掲きます。

## 60周年記念式典 に参列して

C3 磨 常和  
(元東京支部長)

昨年十月十六日、母校創立60周年記念式典に参列する機会を得て、立派になつた各科の校舎を見せて頂きました。我々が学んだ大正末期学校創始時代に比べて、今昔の思いに打たれたと同時に、茲まで達成された歴代校長始め学校当局のご努力に対して、誠に大変ご苦労様でしたと申し上げたい。

古色を帯びた本館の廊下で、祝賀会の席上、同窓の柳井二郎君、板野徳祐君と遇えて、互に健康を祝しあえたことは、小生の喜びであった。

や壁と、最新の設備を探り入れた各科の建物は、母校の伝統と教育内容を対照的に示すものと思われた。

「居は氣を移す」とい

う。現在の生徒諸君やこれから入ってくる人達が、この充実した教室で授業に真剣に取組むならば、やがて一〇〇周年記念式典には、各方面の有力者として多数参列することは間違いないと信ずる。

創立60周年記念行事の成

S4 飯田年春  
(元会長)

功誠にお目出たいかぎりです。

泉尾工業万々才、70周年とますます発展を続けてほしいのです。教育も経済も何かとむづかしい時代、学校当局のご苦労に衷心敬意を表しています。特に今

同一千万円募金の完遂は白

水会事務局おふびご賛同を

## 創立60周年の偉業

A12 大都城康雄  
(東京支部長)

### 記念式典に参加して

創立六十周年記念式典に

白水会東京支部長の資格で

参加致しました。

式典・祝賀会何れも敏潔かつ盛大に挙行され誠に御同慶の到りです。

これを計画・実行されましした学校当局他関係の皆様に心から御苦労様と申し上げます。

四十数年ぶりに見る母校及びその周辺の変り様に驚くと共に生意気盛りをサッカーレ明け暮れた当時を思

い出し感一入でした。

歓辞御容謝



式辞を述べる  
藤倉校長と  
来賓の方々



撤去を待つ旧A・C棟

得た会員諸氏の並々ならぬ協力があったことは勿論ですが、その奥には泉工

一万三千人の卒業生の伝統

「創意・誠実」の力強さがあつたことを忘れてはなりませんまい。

今年度も白水会新会長を迎えたことです。七十年、百年の發展に向つて泉工の伝統を生かした一層の前進を計つてほしいと心から願つてやみません。新会長はじめ事務局ご一同のご健勝とご活躍を祈ります。



ユニークな内容と構成で好評の記念誌



祝賀会場  
大阪白水会員・PTA役員・現役職員等ぎっしり集まつた



寄贈された優勝旗  
総合優勝の科に授与



卒業生を聞くで  
左から川浪先生、長瀬先生

## 60周年を迎えて

M 47 姫野康通

私が卒業しました年が創立50周年の年であり、それから10年、あまりにも速い時間の流れに感心する今日この頃であります。私は幼い頃から機械いじりが好きで、よくおもちゃなどを分解したり、組立てたりして楽しめたものであります。その性格が私を泉工化学機械科へと導いたのである。当時学んだ学問や実習は、卒業後、社会人の一員となるために大変役立っている。私

は、この地で六十年間泉工が住みついているのだな、という程度にしか受けとつていませんでしたが、参加してみて、この六十年の伝統というものの重みを痛切に感じることが出来た次第です。



よろこびの言葉を述べる  
中原生徒会長



発ガソリン性が問題になつて



## トリハロメタンの研究

A科33年卒

梶野勝司氏

一大阪市水道局

いる水道水中の「トリハロメタン」は、ここ十年余り、世界的にその除去策が懸案となつてゐたが、昨年十二月二十五日、大阪市水道局・水質試験所主査、梶野勝司氏（四三）一本校工業化学科33年卒の長年にわたり研究が認められ、北

海道大学から博士号を受けられた。

学位論文のテーマは「水道における有機塩素化合物の生成過程とその制御に関する研究」でトリハロメタ

ンの総合的な研究成果を集成した日本では始めてのものである。

論文はB4版、二百九十分。計十数万字にも上り、自分の研究を職場に持ち立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

の会社は建設機械のレンタル業であるので機械の点検、整備が日常の仕事として重要な分野をしめている。

そして在学中に学んだ多くの知識と経験はその力をあらゆる面に發揮してくれている。力学、材料学、原動機など、とにかく同世代の人々に比べて理解力が豊かであるということは、仕事に対する自信を持たせてくれ大変ありがたい。そして、我社に私の後輩が入社し、大変優秀な人材である事を母校に対して感謝し、御礼を申し上げるしたいで

立派に出来上がり一万余名の卒業生からなるこの白水会をこれを機会に盛り上げていきたいものだ。その為には色々な行事、その他催し物を行ない、白水会が将

来着実なる発展を遂げる為

に、在校生の代表として出席し喜びの言葉を述べさせた。この式典が始まる前まで

は、この地に六十年間泉工が住みついているのだな、

正直な話、現在の泉工を見ている限り、過去の栄光

は皆無といつても過言ではないでしょう。そういう

経験をしたと思っていま

す。

昨年の60周年記念式典に、在校生の代表として出席し喜びの言葉を述べさせた。この式典が始まる前まで

は、この地に六十年間泉工が住みついているのだな、

正直な話、現在の泉工を見ている限り、過去の栄光

は皆無といつても過言ではないでしょう。そういう

経験をしたと思っていま

す。

には各会員みなさんのによる参加、努力がなくてはならないのであり、伝統ある泉工卒業生であるという意識を再確認してもらいたい。

一言に60年と申しますが、半世紀を10年も上回る、大変長い年月であり、さあらに輝かしいものがある。

これまで守り続けていたものだ。さて、本校創立60周年の記念すべき日を迎えて、新しい記念会館も

## 在校生代表として

3E 中原慎一

(前生徒会長)

のたびに自宅で机に向い、一年がかりで完成、昨年九月に提出して教授会の審査を受けられた。

この論文は、母校にも贈られた。

昭和49年、アメリカでの動物実験で弱い発ガソリン性があると報告され、その後、世界各国で除去法の開発が急がれていた。国内で

は、この地に六十年間泉工が住みついているのだな、

正直な話、現在の泉工を見ている限り、過去の栄光

は皆無といつても過言ではないでしょう。そういう

経験をしたと思っていま

す。

結局は、僕達が高い感受性をそなえ、泉工生としての自覚をもち、明確な目標をたてる事が大切だと思

います。どうでしょうか?

中原生徒会長の方や、先輩方の泉工の発展と、教育にかける思いを目の当たりにし、観念だけではあります

が、教育というものの難しさを感じることが出来ました。特に泉工の現状を

し上げます。

そして先生方、先輩方、本当に有意義な一日でした。

この場をお借りしてお礼申

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北

立派な研究が認められ、北



会員だより

母校に寄せられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にどうぞお便りをお送り下さい。

生徒の一  
面

## —遅刻状況について—

一日の始まりはどこでも  
あわただしいものである。

い。やがて、一人、二人と  
遅刻した生徒が入つてくる

5月

テスによつても差がでぐる。一ヶ月の運転者数の累

	人数
52年	59
53年	60
54年	50
55年	51
56年	50
57年	38

月、五月の遅刻者数は表の通りである。

5. 会員登録  
60周年記念事業の成功を  
祝し白水会事務局の皆様方  
のご努力を感謝します。  
S.4 布谷 伊光  
ますます元気で勤務して  
おります。皆様によろし  
く。

S 10 由井昌雄  
46年ぶりに白水会報をいたたき懐しく拝読しました。

国家公務員（含軍隊）25年、会社勤務15年、農業5年、卒業後45年の職歴です。この間紡織関係の仕事を3年間でした。

S15 高橋誠一郎

学校の行事には勤めて参りましたが、60才を過ぎても仲々懇居できず飛び回っておりました。

S16 中村 裕治

会報ありがとうございます。在職中は多忙ですでの退職後に一度お訪ねしたいと思っています。ご発展を祈念しております。金沢

S 27 木村 富次  
八尾市老原五一二二に  
転居、宗教法人、瑞昇教本  
部副會長をしております。  
S 38 兼本 武紀  
(宮城)  
58年はS科38年卒の同窓  
会です。是非参加願いま  
す。

が変わりました。  
卒業以来、永年勤務した  
福助株を4年半前に退職、  
現在堺の昭和ボール㈱にて  
設計に従事しております。  
また、洋画を続けており、  
「東光展」などの公募展に  
出品しております。

S 44	木下 和子	会報の同級生のお名前を 見てなつかしく思つております。
S 46	平田 久恵	(木内) 子供只今3人(一姫二太郎)で上二人が幼稚園に通つています。
S 46	猪木 信行	電子楽器のローランドで コンピュータに悪戦苦闘し
D 14	三宮 義孝	一度暇を見つけて47年振り りの母校の姿を見たいと思つて いる。在学当時がなつかしい。 今後共に宜敷しく。
D 14	福永 義一	民間企業60才の定年後を 雇用促進事業団の訓練校で 中高年離職者を集めて、入

から緊張する。ああ教えよう、こうもっていこうと、クラスや生徒のことを思い浮べながら、今日も「勉強するぞ」と、何よりの気持の充実を大切にする。

ところが、早々に教室に入つていくと、ザワザワとして、挨拶の礼にも立ち上らず、背を向けて声高く私語をし、一体これから何が始まるのかというような雰囲気に出会うと、ああ今日もこれかと、一瞬暗い気持になる。

まだ何人か登校していない

このような訳で、昨年につづいて本年度も、教育指導における生活指導の重点に「遅刻・欠席をなくそう」を掲げた。

遅刻はその時々の事情に もよるが、何よりも生活習慣のせいであり、高校生にとっては自立心ある生活態度かどうかにかかってくる。アルバイト等での遅刻は正当化されるものでない。当然勉学という目

校の動機付をする「能力開発適応講習」というのを担当しております。

	1年	2年	3年	全
的意識の欠如だけではなく、生活面での問題行動も関わって、人間形成を左右する要因となる。結果として学業不振による退学に結びつく。				

D 46 宮原 恵子  
(原田)  
子供三人の育児のかたわらテニスを始めました。  
D 47 齋藤以都子  
(吉野)  
一人娘が11ヶ月になり、主婦として、母として、がんばっております。卒業後10年、工場も新築されたりとか、あの裸電球がなつかしい。

りの差に驚かされる。  
生徒にとって、遅刻は学校生活に何の損得もないと思つて平氣でいる面がある。一方社会に出ればその生活態度も大きく変わることは確かである。だからといって在学中の運刻を見過すわけにはいかない。時間を守ることは勉学への姿勢を正すことであり、伝統ある学園の秩序を守ることである。

## 白 水 会 報

C 3 関田 修 院、58年1月末退院、目下 自宅で画松葉杖による歩行 訓練中、その他健康余病な し。	57年2月腰椎骨折手術入 院、58年1月末退院、目下 自宅で画松葉杖による歩行 訓練中、その他健康余病な し。
C 15 橋本 恒市 昨年四月一日付で大阪窯 業耐火煉瓦㈱本社営業統括 部長として本社に転勤しま した。	C 33 木内 政雄 元気で頑張っています。 脱サラ7年目、そば屋も順 調です。
C 39 藤本喜久男 昨年9月1日付で、イン ドネシアTOTOTOへ転勤に なりました。	C 40 西田 繁雄 51年9月より神職とな り、脱サラをいたしました た。
(東淀川区・大隅神社) A 5 大島 節衛 昭和五十七年一月三日に て満七十才となりましたの で、水谷ペイントも退職致 し、隠退生活を致して居り ますが、茶道、謡曲、外国 旅行、町内会役員、老人ク ラブなど多忙です。	A 45 豊島 良次 現在も吹奏楽を続けてい ます。年に二、三回は演奏 会に出演しています。
A 12 伊藤 俊吉 昨秋、東京の出版社より 「作業部門効率化マニュア ル」を上梓しましたが、幸 い増版となり続いて「シェ ア拡大戦略」(共著)の執 筆を続けています。	M 32 野口 隆士 高砂市の武田薬品でガソ リンを上梓しましたが、幸 い増版となり続いて「シェ ア拡大戦略」(共著)の執 筆を続けています。
M 36 藤田 義治 喫クロセで勤続21年を迎 ました。結婚して4年、 ようやく二児の父親になり ました。	M 36 北口 哲男 今年3月より5月なれば まで、堺港の関西電力の仕 事があり、8年振りに自宅 から通勤致しました。現在 再度、福島県へ出張してお ります。
S 12 山村 英夫 去年三女が結婚して夫婦 二人になりましたが、元気 にやっています。	S 16 渡部 孝 去る三月末の株主総会に て任期満了、常務取締役を 退任し第三の人生、年金受 給、自適生活に入りました た。
M 41 友成 敏雄 卒業後、新光アスベスト に入社し早や17年目を迎え ました。現在一年後輩の山 田君と一緒に元気で頑張っ ております。	M 47 渡壁 一博 山口県での一人暮らしに なれ、言葉の違いにもなれ ましたが、役職の難しささ に頭を悩ます日々です。
S 16 後藤達之助 今年十月定年で(財)日 本建築センターを退職いた しました。定年後どうするか は目下検討中です。色々と 面白い仕事が創り出せるの ではないかと夢想中。	E 46 寺前 覚司 サッカーチームOBのみなさ んへ。
S 18 片岡真太郎 57年芸術文化部門で内閣 総理大臣官邸招待(5月16 日)9月の大坂阪急での美 術展制作中。9月日本橋三 越での国際美術展制作中。	A 11 浜田 吉一 販売部門を担当致してお りますが、低成長下の現状 苦勞を致しております。
D 16 日塙 富夫 さいたま古墳のある行田 市で働いています。家は越 谷で早朝ドライブで出勤し ています。(但し月・金) E 53 尾山 昌一 V-LINS等の新メディア への研究対応、中性紙によ る本造り等、状況変化して 多忙です。(営業本部長)	A 18・12 坂口 和雄 (イサム塗料) 日本石油を退職して一年 す。

務に従事しています。  
M 36 藤田 義治  
喫クロセで勤続21年を迎  
ました。結婚して4年、  
ようやく二児の父親になり  
ました。

▼東京白水会  
会員だより

支部のかたがたにはい  
ろいろお世話になり有難う  
ございました。

D 50 前園 和美  
喫茶「優」開店して早一  
年になり、客の入りもふえ  
てまいりました。今は両親  
と同居しており、結婚はま  
だまだ先になりそうです。

A 20 故岸 康弘  
昨年9月19日国立千葉病  
院にて手術のかいなく、肝  
臓痛のため死去致しました。  
生前の御厚誼深く感謝致  
します。(岸 純子)

C 4 堺 常和

5月11日葉山C/C明治  
会(明治生まれのメンバー  
の会)ゴルフコンペにG  
91、H19、N71で優勝、ま  
た60歳大カップ獲得。

C 28 島野 盛宣

A 28 唐崎 正則  
陸上自衛隊でミサイル関  
係より……謹んでご冥福  
をお祈り致します。

M 20 長谷川正雄

在京12年目大日本印刷の  
北海道へ転勤する可能性が  
強いようです。

A 18・12 坂口 和雄

元気です!独身貴族を目  
いっぱいおう歌しております。

0 7 2 2 - 8 5 - 0 0 2 2	旬に大阪に引越しました。	お詫び	沢山のお便りをいただきましたが、紙面の都合で掲載できませんでした。謹んでお詫びします。
M 32 野口 隆士 新日鉄初芝寮 寺前覚司(46年卒)	S 12 山村 英夫 去年三女が結婚して夫婦 二人になりましたが、元気 にやっています。	M 36 藤田 義治 喫クロセで勤続21年を迎 ました。結婚して4年、 ようやく二児の父親になりました。	

昭和57年度

会費・寄付納入一覧

織維工業科

12	野田成男	西村正晴	四、〇〇〇円
44	山崎峰子	三、〇〇〇円	7 佐野正三
9	桃谷太喜二	二、〇〇〇円	17 田中萬久雄
38	兼本武紀	17 田中萬久雄	17 田中萬久雄
33	浜本哲郎	平鍋光寛	33 浜本哲郎
36	吉岡弘泰	(宮城)	36 吉岡弘泰
46	宮城民枝		
28	小西一正		
45	山下明	一、〇〇〇円	44 岩崎勇次
4	飯田年春	4 加納朝次	43 鳥田一美
6	沢井博	7 神田茂	(小島)
8	鈴木清吾	8 門井静男	42 平鍋光寛
9	松本吉庵	8 馬場鄉生	38 兼本武紀
8	尾崎一郎	9 和田太郎	(宮城)
10	由井昌雄	10 谷馨	33 浜本哲郎
12	林利一	12 山田多市郎	36 吉岡弘泰
12	森久須之助	12 多胡正治	28 小西一正
12	萩原道夫	12 山本美章	45 山下明
12	大西俊夫	12 山村英夫	
13	金田毅	14 村上定	
14	堀井健一	14 赤道秋	
14	丹波竹雄	14 島津徹	
14	西山公夫	14 紺島俊	
14	幸田勝	14 藤崎豊彦	
15	高橋誠一郎	14 寺岸治雄	
14	吉木茂太郎	14 竹内善一	

前川良 大坪吉行 阿部博夫 五十嵐 荒井政敏 嘉多俊雄	15 15 15 16 16 16
岡田弥三郎 村井真一郎 小林直樹 藤川一市 西谷千秋 上田茂実	12 12 12 18 17 17
木村富次 山本康晴 竹内康夫 清水宗吉 八野義計 木村信之	17 18 18 21 21 17
木村元一 谷英夫 上畠憲一 三国広 佐名木幸伸 富士和男	26 28 28 31 31 34
久保田勇之助 石原宗俊 平野精二 堺堆二 池田未雄 野田耕章	31 31 35 38 38 40
北村幸司 小島洋二 中尾博一 木下和子 後藤幸子 猪木信之	41 42 44 45 45 46
岡田良之助 土畑由美子 石川卓子 上畠美子 大坪久恵 色染工業科	46 46 46 46 46 46
岡田良之助 土畑由美子 石川卓子 上畠美子 大坪久恵 色染工業科	46 46 46 46 46 46

36	中元勝巳	37	俊原修一	38	前晴美	39	金澤宣	40	中村勝彦	41	辻信弥	42	佐々木節雄	43	古川伸	44	松倉孝子	45	安積由紀子	46	田中順子	47	宮原恵子	48	白井美智代	49	祐内由紀子	50	西村佳世子	51	岡田良子	52	首藤以都子	53	水崎くみ子	54	47	一〇、〇〇〇円	五、〇〇〇円	三、〇〇〇円	二、〇〇〇円	一〇、〇〇〇円	● 窯業科																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	木谷鷹雄	4	塚本哲三	5	中垣茂樹	6	中垣野善彦	7	岡崎之男	8	井木実	9	井木修	10	隅田修	11	黒田豊	12	花城清文	13	藤原弘純	14	藤原嵩	15	三好勝巳	16	玉井弥一	17	玉井弥一	18	藤懸永明	19	藤多義隆	20	坂口輝	21	飯野巖	22	坂口輝	23	森永正嗣	24	益田治	25	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000

3 柳井二郎	4 安野三弥	5 深田志郎	6 玉川英夫	7 伊奈岡芳次	8 酒井卯三郎	9 岩橋信良	10 土井一人	11 小林豊太郎	12 萩原一郎	13 佐坂光春	14 笠井昇治	15 松井健三	16 松田一	17 田村信三	18 藤村嘉夫
5 34 34 33 33 32 32 29 26 25 25 20 20 20 木曾敏夫	6 宮原信一	7 古川明二	8 中尾公一	9 佐野武甫	10 佐藤富士夫	11 笠岡好	12 本村重次郎	13 竹川利夫	14 竹川利夫	15 竹川利夫	16 竹川利夫	17 竹川利夫	18 竹川利夫	19 竹川利夫	20 竹川利夫
5 34 34 33 33 32 32 29 26 25 25 20 20 20 木曾敏夫	6 宮原信一	7 古川明二	8 中尾公一	9 佐野武甫	10 佐藤富士夫	11 笠岡好	12 本村重次郎	13 竹川利夫	14 竹川利夫	15 竹川利夫	16 竹川利夫	17 竹川利夫	18 竹川利夫	19 竹川利夫	20 竹川利夫
5 34 34 33 33 32 32 29 26 25 25 20 20 20 木曾敏夫	6 宮原信一	7 古川明二	8 中尾公一	9 佐野武甫	10 佐藤富士夫	11 笠岡好	12 本村重次郎	13 竹川利夫	14 竹川利夫	15 竹川利夫	16 竹川利夫	17 竹川利夫	18 竹川利夫	19 竹川利夫	20 竹川利夫
5 34 34 33 33 32 32 29 26 25 25 20 20 20 木曾敏夫	6 宮原信一	7 古川明二	8 中尾公一	9 佐野武甫	10 佐藤富士夫	11 笠岡好	12 本村重次郎	13 竹川利夫	14 竹川利夫	15 竹川利夫	16 竹川利夫	17 竹川利夫	18 竹川利夫	19 竹川利夫	20 竹川利夫

今井寿	35	石原猛	38
山内正彦	39	河原正美	39
藤本嘉久男	39	西田繁雄	40
(中野)			
吉村秀雄	43	池本太菜	43
高浜哲治	44	橋本雅信	45
坂田博昭	45	応用化学科	●
中川一二三	52	工業化学科	
15 熊西清信	39 清川 勝		
一〇、〇〇円			
五、〇〇円			
15 前田 博	16 岡 正士	三	35
8 松本栄一	16 合田昌雄	四、〇〇円	36
17 清水博司	12 中村順一	三、〇〇円	36
18 佐々木義人	16 大都城康雄	二、〇〇円	36
19 大森春樹	12 板野徳祐	一、〇〇円	36
20 北川純男	16 森村彰一	46 沢田龍男	30
21 川下 勇	12 枝川康雄	13 安田禎次郎	14
22 小浜哲男	11 佐々木義人	10 有田正雄	11
23 長尾武男	12 大島節衛	9 中野幸雄	11
24 立岡未雄	13 立岡貞雄	8 戸川政美	10
25 近藤恒夫	14 高松定雄	7 藤井武	8
26 中嶋直一	15 東重次郎	6 田等太郎	8
27 枝川康雄	16 立岡邦三郎	5 神林鉄五郎	8
28 岩崎 嶽	17 立岡邦三郎	4 有田正雄	9
29 安田禎次郎	18 立岡邦三郎	3 有田正雄	10
30 佐々木義人	19 立岡邦三郎	2 中野幸雄	11
31 長尾武男	20 立岡邦三郎	1 有田正雄	11
32 神林鉄五郎	21 立岡邦三郎	0 西本久雄	11
33 有田正雄	22 立岡邦三郎		

9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	7	6	6	5	4	4	4	4	4	3
松	船	松	糸	山	和	福	遠	尾	鉛	門	馬	佐	岩	沢	田	加	飯	布	森	西
井	曳	本	谷	本	田	本	勝	崎	木	井	場	野	井	中	納	田	中	谷	中	村
安	大	吉	喜	太	弘	三	一	清	靜	郷	正	一	朝	年	伊	次	正	正	晴	隆
臣	造	堯	二	昇	光	郎	郎	吉	男	生	三	郎	隆	勇	次	春	光	郎	隆	
万	一	一	四	一	四	一	四	一	万	四	二	六	六	四	四	二	三	万	四	
五	千	万	万	千	万	千	万	千	万	四	千	万	千	四	千	二	万	千	万	
万	万	万	万	万	万	万	万	万	万	四	千	四	千	四	千	二	千	四	千	
万	万	万	万	万	万	万	万	万	万	四	千	四	千	四	千	二	千	四	千	
万	万	万	万	万	万	万	万	万	万	四	千	四	千	四	千	二	千	四	千	

母校創立60周年  
記念事業募金

三千四百	五千四百	一万四千
二千四百	六千四百	二万四千
三万四千	八千四百	三万四千
二千四百	一万四千	四千四百
三千四百	二万四千	五千四百

三宅正治 中須繁行 石川博信  
久勝 沼田清夫 暢高 晴善 和善  
澤久 田中安邦 博司

北口哲男  
七野安広  
井上重雄  
水尾卓  
上杉重信  
板井恆弘  
鶴田順一  
落合正明  
三宅孝史

57	今津武志	47	富田清吉	47	井上裕信	42	山田登志雄	41	船附進一郎	43	和田隆司	42	柳川俊和	42	勝浦政男	44	村瀬秀泰	44	藤川静一	44	塙川史郎	45	中尾秀男	45	前田隆	46	渡壁一博	46	姫野康通	47	山崎一堆	47	小段勇	48	今津武志
----	------	----	------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	-----	----	------	----	------	----	------	----	-----	----	------

		五、〇〇〇円	電氣科
43	41	44 光岡三郎	
寺田忠司	河端 保	二、〇〇〇円	
43	41	42 福永哲哉	
	島井 豊	一、〇〇〇円	
43	41	44 荒木	
下村幸夫	中原英男	差	
	田中啓治		

47 山本哲生  
47 正明  
47 金城繁  
47 青木敏和  
47 蔵谷達也  
47 武内勇  
47 寺前覚司  
47 白井宏和  
47 松井芳春  
47 清水宏晃

31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 30 29 28 28 28 28 28 27 27 26 26 26 26 26 26 26 26 26 24 24 23 22 22 21 21

筒井	富田	忠司	二千円
久保田	勇之助	正之	一万円
米沢	兼本	出口	六千円
大城	池畠準之助	秀昭	一萬四千円
田中	野田	豊三	一万円
北村	中谷	博章	二万円
井川	古谷	廣治	四千円
池内祥夫	打越	末男	二千円
河山	幸司	明	三千円
北山	一雄	光義	四千円
大石	繁男	三千円	四千円
木内利雄	武次	隆志	四千円
細田チヨ(鍼原)	一萬	三千円	四千円
具志堅義	六千円	四千円	四千円
中谷都志子(重松)	四十円	四千円	四千円
林	錦木	一萬二千円	二千円
安部	中村	憲重	一万円
小島	志村君子(藤原)	一萬円	一千円
赤井	松本健三	二万二千円	五百円
北口	今城一夫(丸川)	一万円	五百円
平田	加茂深雪(渡辺)	四千円	五百円
山崎	峰子	一男	五百円
中岡維久(稻田)	幸治	寛二	五百円
峰子	新治	洋二	五百円
六千円	平鍋	孝雄	五百円
六千円	光寛	峰子	五百円
六千円	光寛	峰子	五百円
六千円	峰子	峰子	五百円

9 9 8 8 7 7 7 7 7 5 5 5 5 4 4 4 4 4 3 2 2 2 ♦ 54 51 50 50 49 49 46 46 46 46 46 45 45 45 45 45 45 45 45

岸本康子	田口健二郎
橋本	大曲
木下	茂彦
大石	和子
山下	賢司
三谷	明
栗生	道子
泉	
土畠光美	角
小島	美幸
石川卓子	津
平田久恵	恵
後藤幸子	麻
浮田	登
和田久美子	
小川	次助
鳴崎平八郎	
白石	巖
馬場	
季次	
浜	建次
小西	国男
奥川	敏郎
西機	民雄
杉本	俊夫
石田	
上羽	帝介
高木	慎彦
柴田	
茂幸	
松田	利三
佐藤	
平岡	明
作夫	
利邦	
福田長五郎	
水谷	正利
本咲	清
安田	育雄

二二三三二二三五六一一二二二二二二一一二五二二一一千四四二二一一一四一一一四一千四千六千五百三千五千五百



30 30 30 29 29 29 29 28 28 28 27 26 26 26 25 25 25 25 24 24 24 23 23 22 22 20 20 20 20 20 20 20 20 20 18 18 18 18 18 18 18 18

北高道伊勢前田太田三宅異大貲大賀  
湯山横山豊太郎布垣博徳衛英男伊作弘一  
千葉寿一郎坂口丹生中村上田由良正二  
井原巖本曾敏夫武甫佐野武甫清俊後郎  
千葉一郎前田伏見儀武忠一  
岩橋八雲有志達生俊一清治  
佐藤細丸萬田池田富士夫秀幸圭三  
竹村大賀上中律三郎外平貞雄泰伸康  
守永田佐藤久保川木好嵩光輝明二郎  
屋夕田佐藤良部木光宏清治  
大谷正二郎伊勢前田太田三宅異大貲大賀  
北高道伊勢前田太田三宅異大貲大賀  
湯山横山豊太郎布垣博徳衛英男伊作弘一  
千葉寿一郎坂口丹生中村上田由良正二  
井原巖本曾敏夫武甫佐野武甫清俊後郎  
千葉一郎前田伏見儀武忠一  
岩橋八雲有志達生俊一清治  
佐藤細丸萬田池田富士夫秀幸圭三  
竹村大賀上中律三郎外平貞雄泰伸康  
守永田佐藤久保川木好嵩光輝明二郎  
屋夕田佐藤良部木光宏清治

40 40 40 40 40 39 39 39 39 38 38 37 36 36 36 36 35 35 35 35 35 35 34 34 34 34 34 34 33 33 33 33 33 33 33 32 32 32 32 32 30 30 30

橋本 花井 信行  
依日溝口 佐藤 曾根 西村  
中野 溝口 佐藤 曾根 西村  
内野 竹村  
嬉野 木村  
河本 木村  
森本 木村  
西川 木村  
岡安 木村  
今井 木村  
押江 木村  
妹尾 木村  
吉雄 木村  
吉男 木村  
育朗 木村  
朗 木村  
扶 木村  
朗 木村  
雄 木村  
重 木村  
三 木村  
政 木村  
堆 木村  
善 木村  
彦 木村  
勝 木村  
三 木村  
政 木村  
堆 木村  
喜 木村  
博 木村  
壽 木村  
良 木村  
弘 木村  
健 木村  
嗣 木村  
幸 木村  
夫 木村  
修 木村  
俊 木村  
彦 木村  
進 木村  
邦 木村  
東 木村  
条 木村  
幸 木村  
太 木村  
郎 木村  
武 木村  
司 木村  
堀 木村  
田 木村  
益 木村  
吉 木村  
成 木村  
石 木村  
原 木村  
山 木村  
永 木村  
藤 木村  
本 木村  
喜 木村  
久 木村  
男 木村  
正 木村  
彌 木村  
文 木村  
猛 木村  
治 木村  
堺 木村  
中 木村  
垣 木村  
藤 木村  
本 木村  
永 木村  
内 木村  
森 木村  
木地 木村  
橋 木村  
福 木村  
盛 木村  
惠 木村  
記 木村  
邦 木村  
雄 木村  
茂 木村  
樹 木村  
清 木村  
司 木村  
西田繁雄(中野)  
清司

四千円	五千円	六千円	七千円	八千円	九千円	一万円	一万円	一万円	一万円
三千円	四千円	五千円	六千円	七千円	八千円	九千円	一万円	一万円	一万円
二千円	三千円	四千円	五千円	六千円	七千円	八千円	九千円	一万円	一万円
一千円	二千円	三千円	四千円	五千円	六千円	七千円	八千円	九千円	一万円
五百円	一千円	二千円	三千円	四千円	五千円	六千円	七千円	八千円	九千円
四百円	八百円	一千五百円	二千五百円	三千五百円	四千五百円	五千五百円	六千五百円	七千五百円	八千五百円
三百円	六百円	一千二百円	二千二百円	三千二百円	四千二百円	五千二百円	六千二百円	七千二百円	八千二百円
二百円	四百円	八百円	一千六百円	二千六百円	三千六百円	四千六百円	五千六百円	六千六百円	七千六百円
一百円	二百円	四百円	八百円	一千八百円	二千八百円	三千八百円	四千八百円	五千八百円	六千八百円
五十円	一百円	二百円	四百円	八百円	一千八百円	二千八百円	三千八百円	四千八百円	五千八百円

四千四百	一千四百	二千四百	三千四百	四千四百
四千四百	一千四百	二千四百	三千四百	四千四百
六千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百
八千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百
六千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百
八千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百
六千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百
八千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百
六千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百
八千四百	二千四百	三千四百	四千四百	五千四百

38 37 37 37 37 37 37 36 36 36 36 35 35 35 35 35 35 35 35 35 34 34 34 34 34 34 34 34 33 33 33 33 33 33 32 32 32 32 32 32 31 31 31

若松	藤原	新家
森脇	渡辺	松村
奥田	浜本	尾崎
大脇	三井	大脇
徳井	浜田	新家
松井	住野	松村
高橋	嬉野	中崎
坂本	田坂	浜田
久米	尾上	田坂
林	杉	嬉野
坂本	寺田	曾和
一階	戸田	大西
風早	高浜	堀川
高橋	高浜	金沢
阪上	高浜	向井
高瀬	高浜	多川
寺田	高浜	竹田
木原	高浜	高橋
竹田	高浜	高瀬

邦彦和嘉郎英男良造重雄明潔勝平雄一郎覺則夫彥勝明潔雄一資章親堆功明弘一陽迪三彦和一伸克

六千円	五千円	四千円	三千円	二千円	一千円
五千円	四千円	三千円	二千円	一千円	九百円
四千円	三千円	二千円	一千円	八百円	七百円
三千円	二千円	一千円	五百円	四百円	三百円
二千円	一千円	五百円	四百円	三百円	二百円
一千円	五百円	四百円	三百円	二百円	一百円
九百円	四百円	三百円	二百円	一百円	五円
七百円	三百円	二百円	一百円	五円	一円

45 45 44 44 44 44 44 44 44 43 43 43 43 43 43 43 42 42 42 42 41 41 41 41 41 41 41 40 40 40 40 40 40 39 39 39 39 38 38 38

東吉川 松浦 勢造 野中 青木 木戸 貴志 鈴江 山本 熊田 橿田 清川 池田 野中 青木 木戸 貴志 鈴江 山本 熊田 橿田 清川 池田 今村 山村 宮本 馬場 唐津 吉村 吉田 大段 伊藤 若林 福田 青木 吉田 大沢 池田 朝倉 柏原 深井 今村 山野 倉沢 西代 小浜 谷 岩浅 坂本

武臣 信治 勉  
一堆 征夫 寛治 一男 勝  
高浩 宏俊 夫  
司俊 壽一 憲一  
治郎 武努 光陽  
治郎 武努 阳光  
治郎 武努 阳光  
裕規 久幸 幸晴  
時信 雅孝 雅孝  
均 均 均  
昭三 惠次 次  
豊 豊 豊  
史郎 史郎 史郎  
則男 哲男 哲男  
和史 秀敏 秀敏  
秀雄 秀雄 秀雄

34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 33 33 33 33 33 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 32 31 31 31 29 28 28 26 26 26 26 26 26 25 25 25

中森上野・諸山・岡部浩也・溝淵初男・敏家登・勝井・稻田・堀野・廣田・藤山・福島・金山・佐々木・松野・本祐代・三原・藤原・角岡・平井・田野・藤原乙・矢野・和田・吉田・大島・福水・中崎・木村・川瀬・中川・西口・浦浜・林・中川・伊藤柴田・野村・中川・西口・溝淵初男・博康勉・光雄俊和・太陽一・兼司政美作・泰信・遺作・太政大臣・之義・重良・天祐・卓治・通穂・士郎・勝正・剛毅・秀男・瑞彦・辰雄・高己・正則・重三・富性・益深・寒宏・要達・信雄・隆幸・雅文・夫天・美実・宏・要達・信雄・隆幸・雅文・夫天・美実・宏

38 38 38 38 37 36 36 36 36 36 36 36 35 35 35 35 35 35 35 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34

今津喜三郎 西田 野村 羽河 溝渕 片山 奥村 餌取 中根 正田 玉崎 玉崎 健次  
 須戸 濱戸 瀬戸 瀬戸 正晴 良明 幸雄 幸雄 元昭  
 片山 伸一 佐藤 伊藤 横野 井上 幸雄 幸雄 達雄  
 申二 伸一 伊藤 井上 野路 北口 野路 蝶弘  
 功 博信 藤田 井上 沼田 沼田 繙一 繢一  
 金四郎 伸一 伊藤 井上 道上 道上 洋一 大造  
 隆敏 文彦 高史 清司 清司  
 重雄 文彦 高史 止男  
 具義和  
 哲夫 末好  
 象三  
 荻英  
 義治  
 止男  
 由三  
 博志  
 孝昌  
 安広  
 重信  
 駿  
 恒晴

五万四千  
五千四百  
四千四百  
三千四百  
二千四百  
一万多  
四千多  
三千多  
两千多

47 46 46 46 45 45 45 44 44 44 44 43 43 43 42 42 42 42 42 42 42 41 41 41 41 41 41 41 40 40 40 40 40 40 40 39 39 39 39 39

落合 岡本 田中 鳩田 三宅 松山 上出 岡崎 安井 田中 南部 本  
志磨村 小林 富田 平奥 柳後 藤澄友 斎藤 成吉 野上 岡山 木下 井原 広岡 水上 魚島 附浦 川川 田間 西川 段城 野  
植塙 中城 森柳 勝平 船水 木下 野上 野上 田山 田山 田登 道

44	44	43	42	42	42	42	42	41	41	41	41	41	41	41	41	電 氣 科	合計
光	鶴	寺	伊	山	尾	福	森	河	田	島	姫	中	畠	山	渡	鎌	中
岡	飼	田	藤	内	上	永	本	端	申	井	野	原	真	山	口	田	川
三	伸	忠	慶	茂	清	哲	行	哲	啓	只	英	男	太	郎	一	博	邦
郎	和	司	三	男	志	哉	行	保	治	三	泰	貴	大	也	敏	志	男

六千円  
五千円  
四千円  
三千円  
二千円  
一千円  
四千円  
五千円  
六千円  
七千円  
八千円  
九千円  
一万円  
二万円  
三万円  
四万円  
五万円  
六万円  
七万円  
八万円  
九万円  
十萬円  
十一萬円  
十二萬円  
十三萬円  
十四萬円  
十五萬円  
十六萬円  
十七萬円  
十八萬円  
十九萬円  
二十萬円  
二十一萬円  
二十二萬円  
二十三萬円  
二十四萬円  
二十五萬円  
二十六萬円  
二十七萬円  
二十八萬円  
二十九萬円  
三十萬円  
三十一萬円  
三十二萬円  
三十三萬円  
三十四萬円  
三十五萬円  
三十六萬円  
三十七萬円  
三十八萬円  
三十九萬円  
四十萬円  
四十一萬円  
四十二萬円  
四十三萬円  
四十四萬円  
四十五萬円  
四十六萬円  
四十七萬円  
四十八萬円  
四十九萬円  
五十萬円  
五十一萬円  
五十二萬円  
五十三萬円  
五十四萬円  
五十五萬円  
五十六萬円  
五十七萬円  
五十八萬円  
五十九萬円  
六十萬円  
六十一萬円  
六十二萬円  
六十三萬円  
六十四萬円  
六十五萬円  
六十六萬円  
六十七萬円  
六十八萬円  
六十九萬円  
七十萬円  
七十一萬円  
七十二萬円  
七十三萬円  
七十四萬円  
七十五萬円  
七十六萬円  
七十七萬円  
七十八萬円  
七十九萬円  
八十萬円  
八十一萬円  
八十二萬円  
八十三萬円  
八十四萬円  
八十五萬円  
八十六萬円  
八十七萬円  
八十八萬円  
八十九萬円  
九十萬円  
九十一萬円  
九十二萬円  
九十三萬円  
九十四萬円  
九十五萬円  
九十六萬円  
九十七萬円  
九十八萬円  
九十九萬円  
一百萬円

56 56 55 55 55 54 54 53 53 52 52 51 51 51 51 50 50 50 50 49 49 49 48 48 47 47 47 47 47 46 46 46 45 45 45 44 44 44 44  
下和今石松重西松中久原中渡比山内新中篠小鶴飼竹本浜田中田山口木井本井前藤村与坂口山田高塚川河金武荒  
村田津山村澤中世保田尾邊嘉本田中山原田本宋子美紀雄雅弘幸仲嗣和宏允泰芳覺司政春信大治政繁勇孝  
信省勝充隆弘幸宏正典和幸仲嗣和宏允泰芳覺司政春信大治政繁勇孝

A17 横山 幸男	五百四
協賛広告会社	一〇〇、〇〇〇円
上中硝子製造㈱	田崎真珠
㈱	吉嶽汽缶工業㈱
㈱	泉陽光学
井原窯炉工業㈱	二〇、〇〇〇円
イサム塗料㈱	日本化学技
術㈱	東光精機㈱
工業㈱	トヨクニ㈱
化学工業㈱	加美
スメイク	㈱クロバートコ
グラフ	㈱大阪送風機製作
所	川上塗料㈱
属㈱	三羽堺化
学研究所	市岡建設㈱
誠重工業㈱	太平商会
オノエ家具	日本拍磨㈱
ノルタカメラ㈱	伊丹工場
内外インキ製造㈱	小段金
東洋ガラス㈱	大阪工場
日商機械	㈱
合計	七十六万円

あとがき

古めかしい本館、新築の  
つたA・C棟、遙かに千島  
町の高層棟地。

毎日眺めている窓外の学  
園風景も一変しました。

六十周年記念の諸行事も  
無事完了し、心なしか新た  
な息吹きを感じます。

今号は特に記念事業関係  
の記事で埋りました。

いささか詰め過ぎで窮屈  
な面なきにしもあらずです  
がご容赦願います。(係)